

VAC(Virtual Audio Cable)の使いこなし

VAC(Virtual Audio Cable)はMPP.DSP とファイル再生やストリーム再生のアプリケーションをつなぐブリッジのような役目を果たします。VAC はアプリケーションから WDM 形式のオーディオデバイスとして見えるカーネルモードのドライバーです。

MPP.DSP は使用している Dante Network のサンプリング周波数で動作しています。つまり、MPP.DSP は固定のサンプリングレートで動作するハードウェアベースの DSP と同じような仕様になっています。その結果、ファイル再生アプリケーションが MPP.DSP のサンプリング周波数と一致しないファイルを再生した場合、サンプリングレートの変換が必要になります。その場合 VAC がその役目を果たしています。

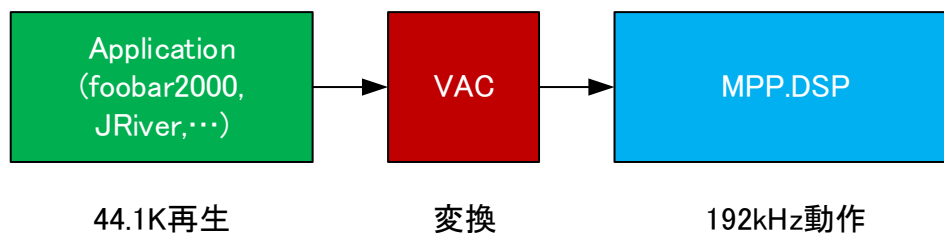


図 1

しかし、ファイル再生ソフトの中には高品質なサンプルレートコンバータのプラグインを利用できるものがあります。その場合、VAC のサンプルレートコンバータを止めて、ファイル再生プレイヤーのプラグインを使用した方が高音質になる可能性もあります。

VAC は入出力のサンプリング周波数が同じ場合は、バイナリデータをそのまま伝送します。つまり、ファイル再生プレイヤーのプラグインの出力サンプリングレートを Dante Network のサンプリング周波数に設定すれば、VAC のサンプルレートコンバータは介在することがありません。

foobar2000 の場合は、図 2 のように DSP Manager で Resampler と呼ばれるプラグインを設定します。この時のサンプリング周波数は MPP.DSP の画面右側にあるダッシュボード内に表示されている値を使用します。この設定で、VAC はサンプルレート変換を行わずデータをそのまま MPP.DSP に渡すようになります。JRiver や他の音楽再生ソフトでも同様の設定ができるものがありますので、お試しください。

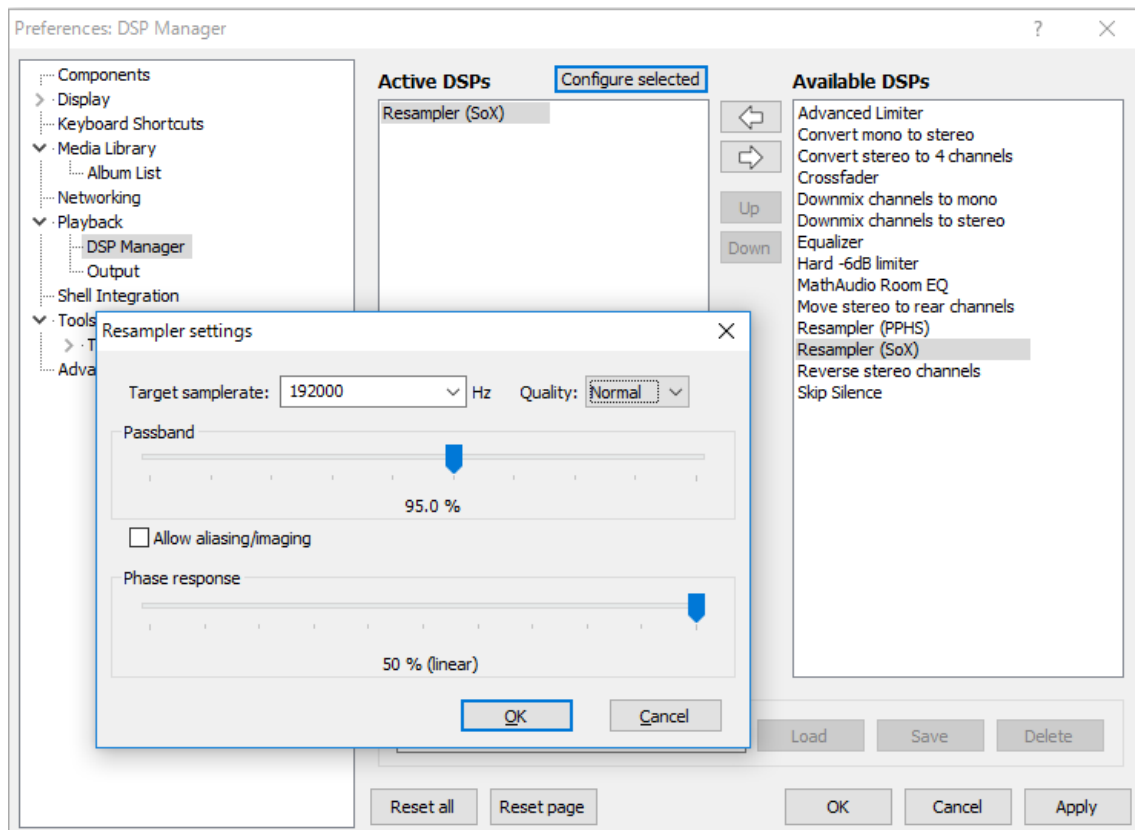


図 2

全ての商品名は関係各社の商標または登録商標です